

認証評価結果に対する改善報告書

平成30年7月27日

1. 大学名：東京富士大学

2. 認証評価実施年度：平成27年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○全学科の定員充足率は厳しい状況にあり、各学科ともに入学定員確保・充足が最も重要な課題となっているため、今後、入学者減少の要因分析をもとに積極的な対策を講じるよう改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

入学定員確保・充足については、平成28(2016)年度より入試広報体制を抜本的に改革し、学生募集体制強化を経営改善5ヶ年計画（平成28年度～32年度）の最重要施策と位置付け、全学あげて取り組んでいる。

その結果、入学者定員充足率は平成28(2016)年度59.6%であったものの、平成29(2017)年度89.5%、平成30(2018)年度115.4%に達しており、大学院を含めると平成29(2017)年度94.8%、平成30(2018)年度117.8%と定員充足率100%超となっている。

（図表1、【エビデンス_基準_2-1-1】総学生数の推移、【エビデンス_基準_2-1-2】入学者数の推移）

改善の取り組みは、まず、平成29(2017)年度から3学科制（経営学科、経営心理学科、イベントプロデュース学科）を2学科制（経営学科、イベントプロデュース学科）に再編し、入学定員数を縮小した。次に高校訪問専門スタッフの確保と増員により高校進路担当教員との信頼関係の構築、オープンキャンパスの充実、Web広告重視の3点を学生募集体制の柱とした。大学院については、社会人が通いやすいように講義時間帯を変更した。

なお、総学生の収容定員充足率は、平成30(2018)年度76.1%であり、さらなる教育の質の向上と学生満足度を高め、学生募集体制の充実を図っていく

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目2-1の資料

【エビデンス_基準_2-1-1】総学生数の推移

【エビデンス_基準_2-1-2】入学者数の推移